

Coyote Point Systems
Equalizer E250si/E350si/E450si
バックアップ・リストア手順書

2007/03/01 版 (Ver. 2.1)

[Equalizer E250si/E350si/E450si v7.2.3c 対応版]



Networld





本書の内容は予告なく変更することがあります。

本書の内容について、(株)ネットワークは如何なる責任を負うものではありません。

本書の内容の無断転写はできません。

バージョンによって画面イメージが異なる場合があります。

Copyright 2007 Network Corp. All right reserved.

Equalizer™ は米 Coyote Point Systems 社の登録商標です。



目次

Equalizer E250si/E350si/E450si バックアップ・リストア手順書	1
目次.....	3
はじめに.....	4
バックアップ・リストア作業での注意点.....	4
コンフィグレーションの取得.....	5
初期設定情報のリストア準備	8
コンソール設定.....	8
インターフェース設定.....	8
再起動	11
バックアップファイルのリストア	12
リストア作業	12



はじめに

本手順書は Equalizer E250si/E350si/E450si v7.2.x 系バージョンのバックアップ・リストア手順所になります。ただし、基本的な操作手順は過去提供のモデル間で差異はそれほど御座いませんので、この手順書をご参照頂く事が可能です。バージョン間でインターフェースのデザインが異なる場合がありますのでご注意頂ければ幸いです。

ご質問の際は弊社 Tec-world (<https://hds.networld.co.jp/helpdesk/support/login.jsp>) へご連絡頂ければ幸いです。

バックアップ・リストア作業での注意点

- バックアップ・リストアの際にリカバリされない項目情報が御座いますので、手順を実行された際には再度設定を確認して運用を行う様をお願い致します。
- リストアによってバックファイルのリカバリをされる場合には以前の設定情報が残る事があります。運用前に必ず設定を確認する様をお願い致します。
- 故障等で機器の交換を行う場合は、ウェブ管理インターフェースからリストア作業を行う為にシリアル接続 eqadmin アカウントでインターフェースに IP アドレス等設定し、ウェブ管理インターフェースへアクセス出来る様設定が必要になります。
- 機器によってはご利用になっていた機器と故障交換した機器とでインターフェース名が異なるものがあります。その場合にはリストア後に再度 eqadmin アカウントからインターフェース IP の設定を行う必要がありますのでご注意下さい。



コンフィグレーションの取得

1. backup file を取得する為、ウェブ管理インターフェースへアクセスします。ブラウザを起動して、Equalizer インターフェース IP アドレスを入力して下さい。(Single ネットワーク構成環境では Internal 側 IP アドレスを入力して下さい。)



図 1

2. ログイン画面が表示されますので、username: touch を入力します。 Password: は touch (デフォルト) もしくはお客様にて設定されているパスワードを入力します。

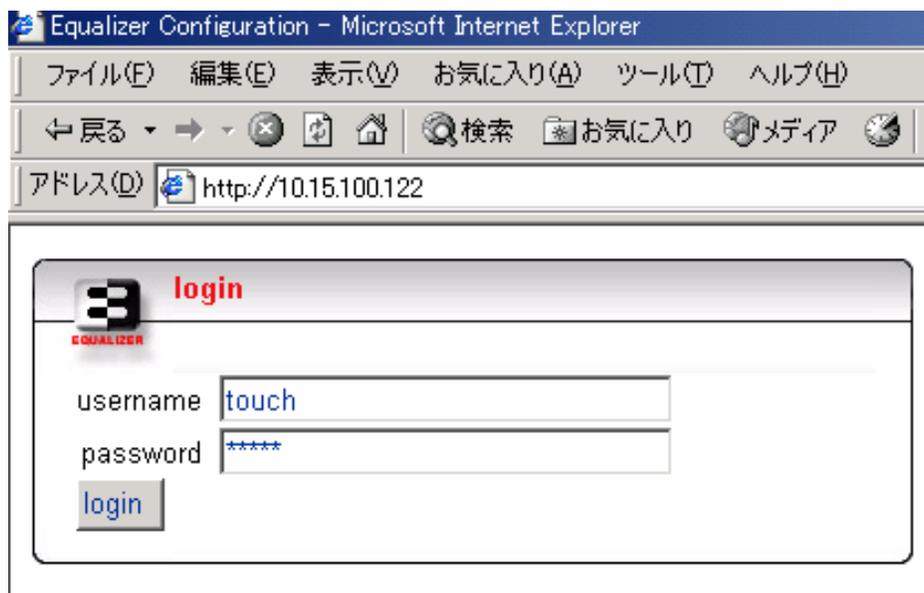


図 2



- 画面中央の Equalizer > Global Configuration をクリックして「modify system parameters」を表示させます。画面中央右上に menu が表示されますので、menu > Backup/Restore Configuration をクリックします。

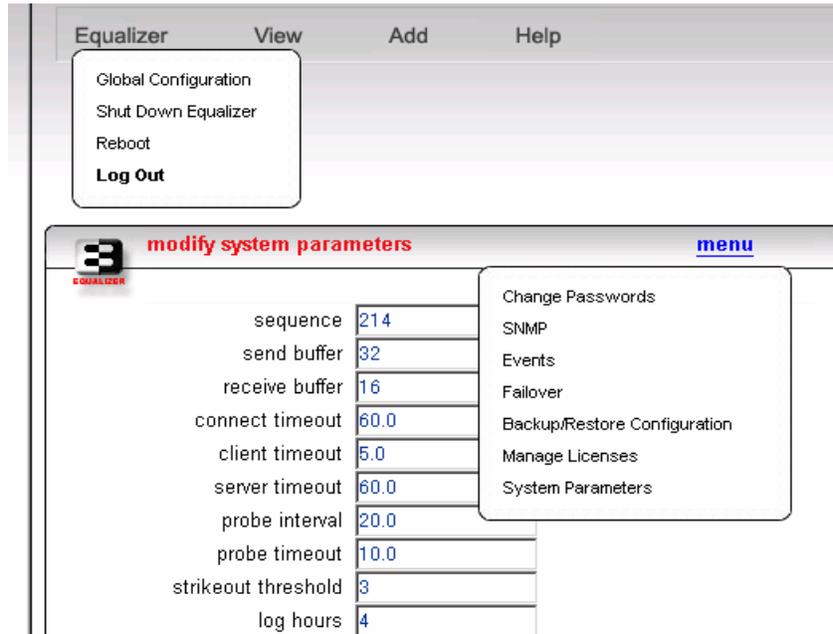


図 3

(v7.2.2c 以下のバージョンでは Equalizer > Configure > Backup/Restore Configuration を選択しクリックして下さい。)



図 4



- 画面中央の「backup」のボタンをクリックし、PC上の任意のフォルダに任意のファイル名でバックアップファイルを保存します。デフォルトでは「EqConf.bkp」というファイル名になります。

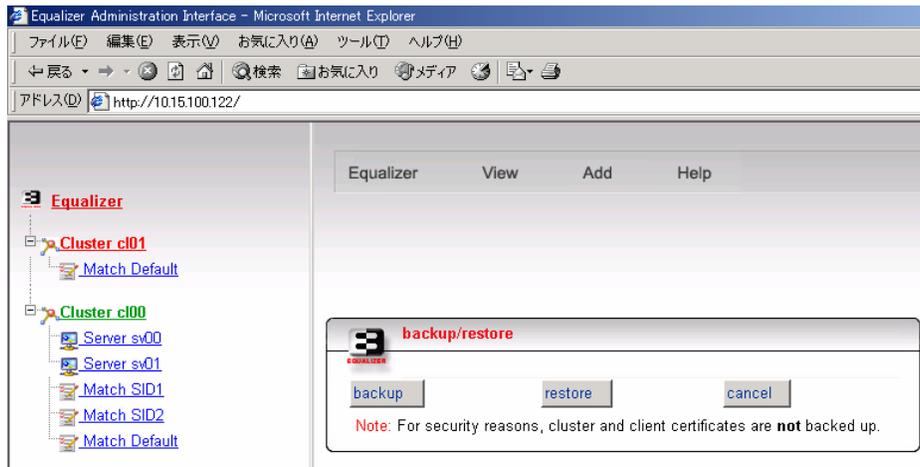


図 5

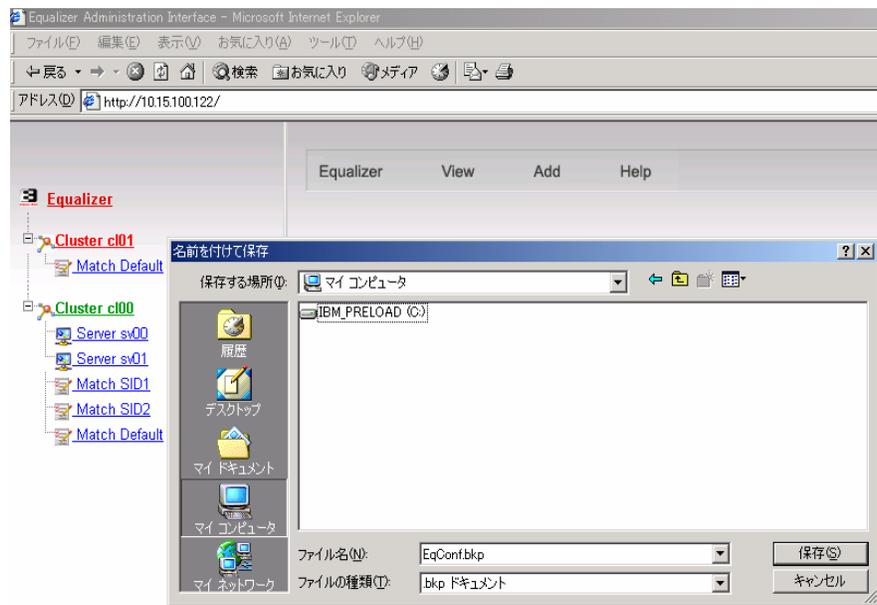


図 6

保存ボタンを押してファイルを保存します。

以上でバックアップファイルの取得が終了します。



初期設定情報のリストア準備

機器障害等で機器交換される場合にリストア作業が必要になります。 リストア作業の為にウェブ管理インターフェースへアクセスする必要がありますが、機器交換時にはインターフェースにお客様環境の IP アドレスは設定されておりません。 リストア作業を可能にする為に Equalizer インターフェースの IP 設定を行って下さい。

コンソール設定

シリアル接続を可能にする為、コンソール・エミュレータの設定を行って下さい。

- **Baud rate:** 9600
- **Data:** 8 bit
- **Parity:** None
- **Stop:** 1 bit
- **Flow Control:** なし
- **vt100 emulation**

シリアル接続を行い、上記設定済みの Tera Term Pro などの通信ソフトを起動し、CLI 管理画面にログインします。

インターフェース設定

設定順序は以下の通りです。

1. ログインプロンプトが表示されたら、
Login: **eqadmin**
Password: **equalizer** (デフォルト)
と入力し <Enter> を押すと、CLI インターフェース上に Equalizer Configuration Menu が起動します。(パスワードエラーでログイン出来ない場合は root でログインして eqadmin にログインして下さい。パスワードの変更が必要な場合は「5 Console Set console password.」を選択して eqadmin 用のパスワードを再度設定し直して下さい。)



- 5 . **Back** を選択し **<Enter>** を押すと、メインの Configuration メニュー、Equalizer Configuration Menu に戻ります。

再起動

- 6 . 設定を適用し更新させるには、Equalizer Configuration Menu の 6 番目、「6 Commit Commit changes & reboot」を選択して、Equalizer を再起動させます。



バックアップファイルのリストア

設定のリストアを行う場合にはウェブ管理インターフェースにアクセス・ログインする必要があります。ウェブ管理インターフェースへのアクセス・ログインについては「[コンフィグレーションの取得](#)」の手順 1 ~ 3 をご参照下さい。

リストア作業

1. 上記作業を行い、画面中央の「restore」のボタンをクリックします。

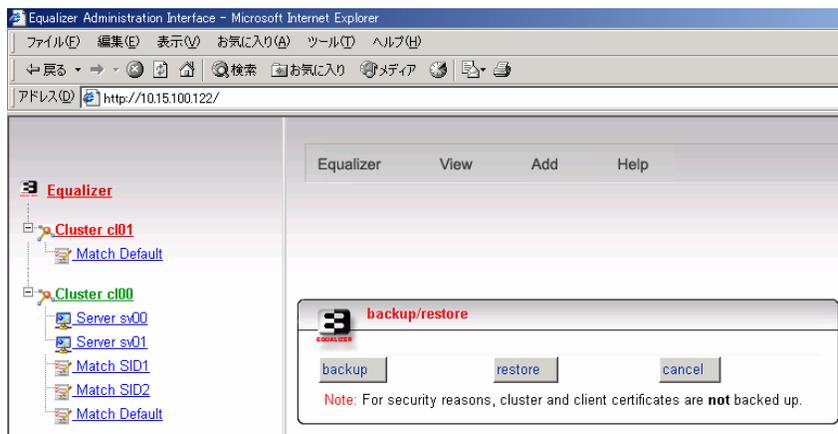


図 10

2. 「参照」ボタンをクリックして、PC 上の backup file を選択します。

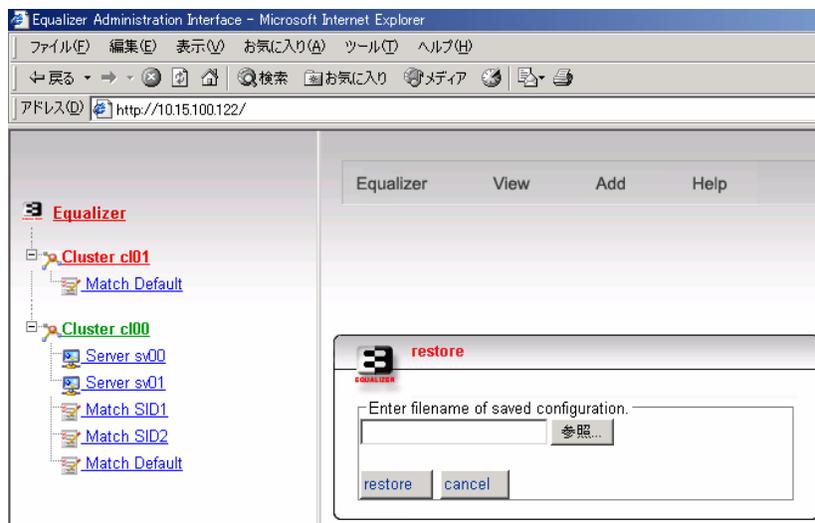


図 11



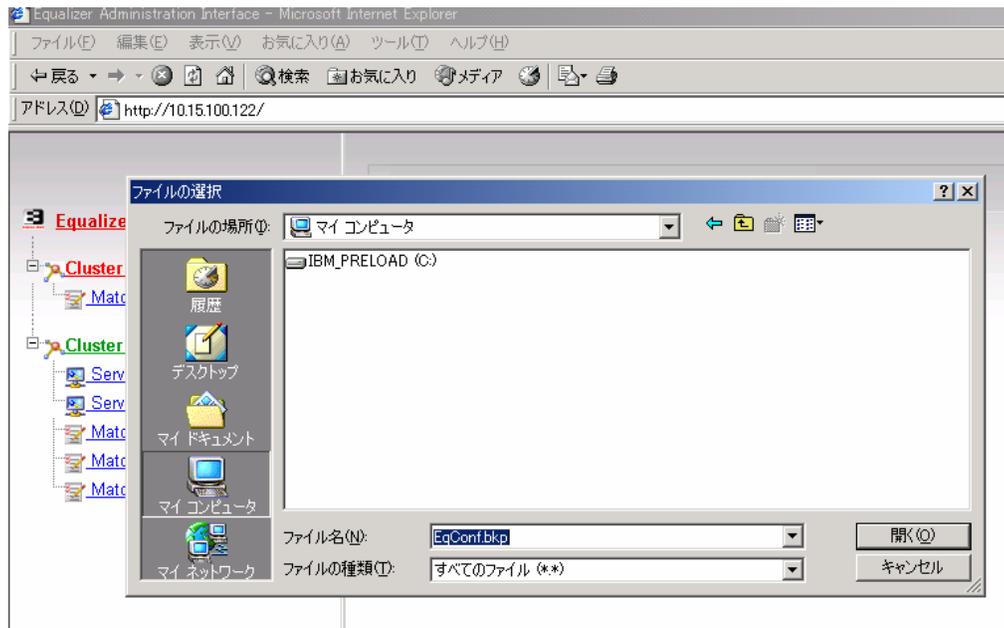


図 12

3. restore のボタンをクリックすると、機器が再起動します。 リストアの終了です。

* 機器によってはご利用になっていた機器と交換機器とでインターフェース名が異なるものがあります。

機器にはインターフェース名が fxp0/1、em0/1 に設定されているものと vr0/1、bge0/1 で設定されているものがあります。異なるインターフェース名で機器交換を行う場合にはリストア後に初期設定情報のリストア準備の「[インターフェース設定](#)」の手順をもう一度繰り返す必要があります。再度 eqadmin アカウントからインターフェース IP の設定を行う必要があります。ご注意ください。



COYOTE POINT SYSTEMS INC.™

